

はじまるヨ! 小中一貫教育ニュース

志木市教育委員会
学校教育課
第 7 号
令和5年10月20日発行

宗岡中学校区の乗り入れ授業 ～中学校3年生の姿を想像した指導～



生徒たち全体を温かく見守る川上教諭

宗岡第二小学校・川上教諭（音楽）による宗岡中学校への乗り入れ授業が行われました。

この日は1年3組の音楽の授業に入り、宗岡中学校の村上教諭とともに授業を進めました。

村上教諭が行う合唱指導では、ウォーミングアップに取り組む生徒たちの中へ川上教諭が入り、姿勢や口の開け方、声の大きさなどについて指導していました。

合唱曲での指導では、川上教諭が指揮者の腕の振り方や、テノールパートへ見本となる発声を実際に行っていました。

授業後には、村上教諭と川上教諭が指導方法についての意見交換をしていました。

宗岡中学校・林校長の話では、「宗岡二小の川上教諭が宗岡四小にも指導に行くことで、宗岡二小と宗岡四小の音楽指導が共有され、宗岡中に進学した子どもたちが、中学校3年生になって、素晴らしい合唱ができるようにしていきたい。」とのことでした。併せて、11月中旬以降の時間割からは、宗岡中学校の村上教諭を宗岡二小と宗岡四小へ派遣をすること予定しており、さらに音楽指導の共通化、充実が図れると思うとのことでした。

小・中学校の先生方が互いに組織文化・習慣の違いを乗り越えて..

「小・中学校の先生方の組織文化・習慣の違いが大きいと、調整することが負担となり、小中一貫教育の導入は困難ではないのか。」といった心配の声をいただくことがあります。実は、志木市が小中一貫教育を導入する根拠の一つが、このことにあります。

志木市では、これまでの6・3制の「小学校と中学校の組織文化、習慣の違い」を乗り越え、子どもたちの育ちとして重要な義務教育9年間を円滑に活動させていくことを重要視しています。

小学校から中学校への子どもたちの接続期を円滑にするために、教職員や保護者が協力して9年間の見通しを持ち、連携して子どもたちを支援するのが小中一貫教育です。

また、義務教育学校は一つの学校となるので、より円滑に接続することができます。学校生活への不適應や学習のつまずきなどの課題に対しては、これまでのような小学校は小学校、中学校は中学校という垣根の高い対応から、義務教育9年間として考え、小学校と中学校の垣根を低く、あるいは取り払って円滑に継続的に対応することが大切です。子どもたちや保護者の皆様の不安を少しでも取り除き、小・中学校の先生が質の高い教育を実現していくことを目指しています。

【お問い合わせ先】志木市教育委員会学校教育課・教育改革グループ

本ニュースや小中一貫教育について、御意見や質問等がございましたら御連絡ください。

小中一貫教育に関するHP <https://www.city.shiki.lg.jp/site/syotyuyikkan/>

URLが変更されました。「お気に入り」設定の変更をお願いします。

☎048-456-5367 E-mail g-kyouiku@city.shiki.lg.jp

